

資料 3

切れ目のない支援の引継ぎの
仕組みづくりについて

切れ目のない支援の引継ぎの仕組みづくり

～ 情報共有ツールを活用した仕組み～

現状・課題

- ① 成人期まで使える情報共有ツールが無い
- ② 所属機関や支援者が変わる際、必要な情報のアンマッチや情報不足により、支援の停滞が起こりがちである
- ③ 新たな支援者につながっても、障がい特性や支援経過の共有が不十分なため、当事者・家族と支援者間の信頼関係の形成に時間がかかる

めざす姿

- ① 当事者・保護者と支援者間、または医療、保育、福祉、教育、就労等の各分野の支援者間で、個々の発達障がいの特性や支援に関する情報、ニーズ等の共有がスムーズに行える「情報共有ツール」がある。
- ② 各分野の支援者間で、個々の発達障がいの特性や支援に関する情報共有がスムーズに行われ、ライフステージを通じた切れ目のない支援の引き継ぎが行える仕組みがある。

取組方針

- 【1】 ライフステージの移行時や支援機関(者)等がかかわる際の、支援の引き継ぎ状況、課題等について、自治体調査及び医療・福祉・教育・就労等の関係機関への聴取りを実施し、実態把握、要因分析を行う。
- 【2】 本市の現状について把握し、多角的な視点からの分析を行うため、本人・保護者のニーズを調査するとともに、各ライフステージで支援に携わる関係機関等に対して、意見を広く収集し、あるべき「情報共有ツール」の姿を分析する。
- 【3】 【1】及び【2】の結果をふまえ、共有すべき「情報」支援内容を整理し、「情報共有ツール」の内容を検討する。
地域の実情に応じた「切れ目のない支援の引継ぎのための仕組みづくり」を検討する。

取組み内容

【1】（平成29年度）：自治体調査の実施

【調査先】 ◆都道府県・政令市、医療・福祉・教育・就労等の関係機関。

【2】（平成30年度）：本人・保護者・関係機関等への調査の実施

【調査先】 ◆本人、保護者、保育所・幼稚園（公立・私立）、公立学校（小・中・高）、特別支援学校、専門学校、短大・大学、企業、障がい福祉サービス・障がい児支援事業所等、児童養護施設、医療機関、区、こども相談センター。

【3】（令和元・2年度）：情報共有ツールの内容の検討、支援の引き継ぎのための仕組みづくりの検討

【令和元年度】 ◆平成29・30年度に実施した調査結果の分析、情報共有ツールの内容及び普及啓発方法の検討。

【令和2年度】 ◆情報共有ツール「就学前編」を保護者等に試用してもらい、試用後に効果測定を実施。使用上の意見を分析し、より使いやすいものを作成。
◆就学時以降の移行期に有用な情報共有ツールを順次作成。 ◆情報共有ツールの普及啓発活動を実施。

【4】（令和3年度）：青年成人期向け情報共有ツールを活用した支援の仕組みづくりの検討

◆情報共有ツール「高校入学編」、「成人期編」等就学時以降の各ライフステージ毎に有用なツールを試用してもらい、試用後に効果測定を実施。
使用上の意見を分析し、より使いやすいものを作成。

◆各情報共有ツールの普及啓発活動を実施。

切れ目のない支援の引継ぎの仕組みづくり

～情報共有ツールを活用した仕組み～

～平成30年度本人・保護者・関係機関等への調査結果～

- 本人・保護者・関係機関等への調査は、複数の選択肢から当てはまるものを選ぶ「選択肢形式」と、思ったことや具体例を自由に記述する「自由記述形式」を併用して行った。
- 自由記述の回答には、より具体的な内容が記載されていたり、調査者が見落としていた視点について記載されていることから、選択肢形式の回答のみでは、より具体的なニーズが十分に把握できない可能性がある。
- 情報共有ツールの活用希望、事前に情報提供がなかった場合に困ったこと等、生活場面が新たな環境に移る時の引継ぎの際にどのような内容・事項等の情報があれば役立つと思うかについて選択肢形式で尋ねたところ、保護者・関係機関等とも回答に共通した傾向がみられた。
- そのため、情報共有ツールの主な利用者となる保護者を中心に、自由記述欄の回答分析を行い、情報共有ツールの内容検討の一助とする。

～支援の引継ぎのための仕組みづくり～

令和元年度では、調査結果を分析した次の5つの項目に基づき、情報共有ツールを活用した支援の引継ぎが必要な「対象時期」、情報共有ツールの書式や項目などの「内容」、作成にあたって保護者への「支援」、支援者への「普及」の検討を行った。

- ライフステージに応じた情報提供が必要
- 保護者と専門分野異なる支援者間での理解・共有の困難性
- 環境の変化の場面での困難性と情報共有ツールの必要性
- 情報共有ツールは啓発活動の機能もあわせ持つ
- 情報共有ツールの具体的な内容

5つの項目に基づき検討した結果、具体的な引継ぎの仕組みづくりの実現には、次の2つの項目が必要と考えられる。

- 情報共有ツールの作成
「就学」という幼児期から学齢期の移行期を想定し、発達障がい児の保護者が理解、作成しやすい形の情報共有ツールを作成
- 情報共有ツールの普及
情報共有ツールを広く市内の関係機関に知ってもらうために、支援者への普及活動を実施し、保護者と支援者が情報を共有できる状況を促していく

切れ目のない支援の引継ぎの仕組みづくり

～ 情報共有ツールを活用した仕組み～

～ 情報共有ツール「就学前編」の試用の状況 ～

令和元年に作成した情報共有ツール「就学前編」試用版について、実際に使う人にとって使いやすいものになっているか検証するため、保護者に試用してもらい、意見や感想を聴取。支援者・関係機関等からも意見を聴取し、より使いやすいものに改善を図った。

試用状況

試用者	対象児童	試用状況			試用した保護者の主な意見
		配付者数	試用者数	実施時期	
ペアレント・トレーニング参加保護者	小学校1～4年生	5人	3人	令和2年8月	<ul style="list-style-type: none">・入学時にあれば、子どもの発達の特徴を伝えるのに便利だったと思う。・コロナ禍で実際に登校する時期が6月になり、子どもの様子がわからず心配であったが、学校での様子を担任の先生に書いてもらって安心した。・担任の先生とのディスコミで困っていたので、書式をもらってぜひ使いたい。・チェックすれば良いので簡単で使いやすい。大きさや記入量はちょうどよい。・家にプリンターが無いので、印刷した形の方がよい。・「苦手なこと・不安になりやすいこと」は、伝えたいことが多いので、もう少し記入するスペースを多くして欲しい。
発達障がい児専門療育機関利用者、障がい児通所サービス利用者の保護者	年長児	20人	2人	令和2年11月	<ul style="list-style-type: none">・入学時にどんな内容を伝えればよいか迷っていたが、書式にそってまとめることができ良かった。・家族内でもあらためてこの分野が気になるな、と共有することができた。・子どもを距離を持って客観視するきっかけになり、大変助かった。・療育機関に書いてもらうところがあるのが良かった。・座席の位置や安心できる声かけの仕方等を書くところがほしい。・苦手なこととその対応方法を同じ欄に書いた方がわかりやすいと思う。・サポートブックを参考に、本人の困りごと・解決法をもっと発見していきたい。・就学シートよりも書きやすかった。・量については、少ない（子どもの特性を書く欄が少ない）、多すぎる（なかなか全部目を通してもらいにくいのでは…）の両方の意見があった。
		26人	2人(11)	令和3年1～2月	

切れ目のない支援の引継ぎの仕組みづくり

～ 情報共有ツールを活用した仕組み～

主な意見

- ・プロフィールがそのまま個別教育支援計画に使えるので良い。
- ・情報共有ツールを使って、保護者と先生がやりとりして一緒に子どもについて考えていけることが重要であると思う。
- ・この情報ツールは、基本的に通常学級で過ごす、またはグレーゾーンの子どもたち対象に作成されているというイメージがある。
- ・普及啓発について:職員(教員・保育士)研修の中で注意喚起する機会があった方がよいと思う。
HPにアップする際、ツールとともに使い方の例が載っているマニュアルが必要であると思う。
- ・保護者の方たちには、わからなければ保育所園・幼稚園の先生にきいて一緒に作ることをすすめると良いと思う。
- ・保育所園・幼稚園の先生方に周知して、心配で相談してきた、もしくはグレーゾーンのお子さんや特徴があるがまだ気づいていない保護者の方に理解していただくツールに使っていただくとういと思う。
- ・保育所園の先生に、どんなことを情報提すとよいか、記入例の中でお知らせしておいた方がよいと思う。
- ・保育所園の先生や療育機関のコメント欄...いつ記載したのか日付を書く欄があったほうが良い。
- ・学校での過剰適応でしんどくなり不登校に至りそうなケースなどの場合、事前に先生に情報提供できる箇所があると良いと思う。
- ・医療情報を記入するところに、「てんかん」の有無を入れた方がよいと思う。
- ・「就学編」の対象:就学前から(年長)ときっちり記載されているほうがわかりやすい。

～ 情報共有ツール「就学前編」の完成 ～

情報共有ツール「就学前編」試用版について、保護者や支援者・関係機関等から意見を聴取したものを参考に、改善を図ったものを、エルムおおさかのホームページにアップロードした。情報共有ツール「就学前編」について、一定の完成はしたが、よりよい情報共有ツールとして保護者に活用してもらうため、今後も引き続き意見の聴取を行い、順次改善を図っていく。

これまで利用されてきた発達ノート「医療機関の記録」、「相談機関の記録」について、有用であるとの意見を受けて、情報共有ツールのオプションとして使用できるように、エルムおおさかのホームページにアップロードした。

【参考】

情報共有ツール「就学前編」:ホームページURL掲載

医療機関の記録:ホームページURL掲載

相談機関の記録:ホームページURL掲載

切れ目のない支援の引継ぎの仕組みづくり

～ 情報共有ツールを活用した仕組み～

～ 情報共有ツール「高校入学編」の試用～

就学时以降の各ライフステージ毎に有用なツールとして「就学前編」に引き続き、「高校入学編」を作成、使用する上での意見や感想を把握し、より使いやすいものへ改善するために、保護者や支援者に試用してもらい、試用後にアンケートを実施するとともに、その効果を測定する。

試用状況

(令和3年9月末現在)

試用者	対象生徒	配付者数	試用者数	その他
エルムおおさか 個別相談ケース 保護者	高校1年～2年	2	2	
大阪市内 親の会会員 保護者	高校1年～2年	10	?	

支援者・関係機関等からの意見の聴取状況

(令和3年9月末現在)

- ・保護者、当事者の会
- ・エルムおおさか 個別相談ケース 保護者
- ・他、発達障がい専門の大学教授・准教授など学識経験者 ... より、意見を聴取していく予定

～ 情報共有ツール「成人期編」の作成～

「就学前編」、「高校入学時編」に引き続き、「成人期編」を順次作成、試用版が作成出来次第、より使いやすいものへ改善するために、使用する上での意見や感想を保護者、支援者、関係機関より聴取し、保護者や支援者に試用してもらい、その効果を測定する。

「成人期編」については、就職、大学等進学、就労移行支援への通所等多様な進路が予想されることから、情報共有ツールとともに、個人の特徴やかかわり方で注意してほしい注意点を相手側に伝えるためのものを別途作成する

情報共有ツール「成人期編」のスケジュール予定

- ◆令和3年10月～11月 情報共有ツール「成人期編」案作成・試用・関係先等からの意見聴取
- ◆令和3年12月下旬～1月 情報共有ツール「成人期編」の試用版の改善
- ◆令和3年2月～3月 エルムおおさか連絡協議会、発達障がい者支援部会(第2回)で報告
- ◆令和3年3月 エルムおおさかホームページにアップロード

切れ目のない支援の引継ぎの仕組みづくり

～ 情報共有ツールを活用した仕組み～

～ 各種情報共有ツールの普及啓発 ～

作成した情報共有ツールを広く市内の関係機関、保護者に知ってもらうために、エルムおおさかのホームページに情報共有ツールをアップロードした。

併せて情報共有ツールの使用が必要となる保護者への普及啓発活動として、ペアレント・トレーニング講座への参加者などに周知し、保護者と支援者が情報を共有できる状況を促していく。

普及啓発の実施状況（令和3年度上半期、エルムおおさか主催講座の中で）

講座名等	日時	対象者	内容
ティーチャーズ・トレーニング連続講座 A・B	令和3年6月～	保育所保育士	連続講座の途中 または集合講座 の最後に紹介・ 配布
ペアレント・トレーニング連続講座 幼児	令和3年9月～	保護者	
ちょっと気になる子どもたちのからだ講座	令和3年9月14日	保護者・支援者	
【保護者対象】 第1回発達障がいの理解と支援(プラス)	令和3年9月24日	保護者	
幼児期ソーシャルスキル講座(3回連続)	令和3年9月～	保護者・支援者	

()

「就学前編」情報共有ツール(サポート・ブック)



先生方 へ

- ・このサポート・ブックは()が初めての小学校生活をよりスムーズに開始できるように、家庭内外での経験や、医療機関、幼稚園、療育機関などの先生方からの情報に基づいて作成しました。
- ・小学校や関係機関の先生方と()が困った時の工夫の仕方などを情報共有することで、それぞれの場所でより充実した時間を過ごせるものと思います。
- ・先生方にも小学校で()について発見したことを書きこんでいただけたらうれしいです。どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年 月 日 作成者:()

プロフィール

名 前：
生年月日：
家 族：
住 所：
連 絡 先：

医療機関： ホームドクター ...
主治医(発達障がい) ...
相談先・支援機関：

診断名(発達障がい)： なし・あり
てんかん : なし・あり
その他の疾患 : なし・あり

薬 : なし・あり

配慮事項 : なし・あり

発達・知能検査：なし・あり
障がい手帳： なし・あり

いいところリスト

できること・がんばっていること

特技・とてもくわしいこと

*先生と一緒にたくさんいいところ（具体的な行動）を見つけてください。

好きなこと・落ち着くこと

好きなこと

落ち着くこと

苦手なこと・不安になりやすいこと

・場所：

・場面：

・ひと：

・食事：

*給食を想定して書きましょう（1口大なら食べる等、形態や食器についても）

・その他：

特徴

当てはまるものに☑をつけてください。心配な分野の傾向がわかります。

1. ことば、コミュニケーションの心配	とてもある	ある	なし				
2. 変化への適応の心配	とてもある	ある	なし				
3. 社会性での心配	とてもある	ある	なし				
4. 多動性・衝動性・不注意	とてもある	ある	なし				
5. 学習上の心配	聞く	話す	読む	書く	計算する	推論する	なし
6. 運動・姿勢の心配	バランスが悪い	不器用	姿勢がくずれやすい				
7. 生活面での心配	とてもある	ある	なし				
8. 有効な情報呈示方法	視覚優位	聴覚優位	両方	わからない			
9. 感覚の過敏性	視覚	聴覚	触覚（特に顔）	味覚	嗅覚	その他	なし
10. 知的な面での心配	とてもある	ある	なし				

具体的には...

支援者の先生と相談しながら、具体的に心配している項目についてチェックしてください。

当てはまるものに☑を記入してください。困っている分野の傾向がわかります。

お助けアイデアは、具体的には6頁をご覧ください。

具体的には	お助けアイデア
1 困った時に助けを求められない	工夫 1
2 話す内容が年齢に比べて幼ないように思う	工夫 2
3 一方的な会話がが多い	工夫 3
4 人の話を聞いて理解するのが苦手 ～一斉指示は無関係と思いがち	工夫 4
5 複数の指示を覚えるのが苦手	工夫 5

具体的には	お助けアイデア
6 見て理解することが得意 ～禁止の指示は見た方がわかりやすい	工夫 6
7 予定の変更を受け入れにくい	工夫 7
8 新しいもの、場所、人を受け入れにくい ～環境の変化に敏感	工夫 8
9 一つのことにはまりやすい ～興味：車、こだわり：勝敗、順番、道順	
10 ひとり遊びが好き	配慮 1
11 ルールや社会的な約束ごとがわかりにくい	工夫 9
12 思い通りに事が進まなかった時、イライラが高じやすい	工夫 10
13 思ったことを悪気なく口にして、友達とケンカになる ことがある	工夫 11
14 集団で行動することが苦手	配慮 1
15 いつもおしゃべりしている	
16 じっとすわっていることが苦手 ～立ち歩いてしまう	工夫 12
17 気が散りやすく先生の話聞きのがす、聞き間違える	工夫 4
18 忘れ物・なくし物が多い	工夫 13
19 行事等でいつもと違う雰囲気やテンションが上がると、 多動になる	配慮 2
20 一つのことをやり続けることが苦手	工夫 14
21 興味の対象が次々に変わる	
22 正しい発音ができにくい	工夫 15
23 文字を読む、書くことがとても苦手	工夫 16
24 数える、計算することがとても苦手	工夫 17

具体的には	お助けアイデア
25 絵を描くことがとても苦手	工夫 18
26 遊具であそぶこと（縄跳び、鉄棒、一輪車など）が苦手	
27 姿勢を保つのが苦手	工夫 19
28 不器用	
29 トイレに見守り・配慮が必要	
30 整理整頓、準備、片づけ（登下校時や授業の時等）が苦手	工夫 20
31 給食を食べる時に見守り・配慮が必要	
32 偏食がある	配慮 3
33 着替えるときに見守り・配慮が必要	
34 スピーカー等の大きな音が苦手で行事に参加できにくい	配慮 4
35 感覚の敏感さのために難しい活動（のりづけ、プールなど） がある	配慮 5
36 その他（ ）	

困っている（心配な）分野

*先生に相談したい優先順位：1～3まで

記入者()

<input checked="" type="checkbox"/> がついた番号	チェック数	心配な 優先順位	困っている（心配な）分野
	4 / 6		ことば、コミュニケーションの心配
	3 / 3		変化への適応の心配
	5 / 5		社会性での心配
	1 / 7		多動性・衝動性・不注意の心配
	1 / 4		学習上の心配
	3 / 3		運動・姿勢の心配
	1 / 4		生活面での心配
	1 / 2		有効な情報呈示方法
	3 / 3		感覚の過敏性

先生方からの情報

保育所・園で：

記入日 年 月 日

療育機関などで：

記入日 年 月 日

小学校で：入学から1か月間の様子を教えてください。 記入日 年 月 日

活用しているいろいろな工夫

いろいろな工夫例の写真など

検査結果のまとめ

主治医、心理士、専門スタッフより

保護者より

大阪市の就学相談

就学相談の窓口 ... 地域小学校

・インターネット ... にぎわいネット「障がいがあるお子さんの就学相談情報」

<http://www.ocec.jp/shidoubu/index.cfm/9,0,15.html>

・電話 ... 大阪市教育委員会指導部 インクルーシブ教育推進担当
支援学校等への就学相談 Tel. 06-6327-1017

参考資料：お助けアイデアのいろいろ

心理教育的に有効であるとされている支援方法のいくつかをご紹介します。
すぐに役立つような方法があればご参考・ご活用ください。

工夫 1：授業中、助けてほしいことや質問があるときにヘルプ（ ）

カードを机の上におくと先生が順番に来てくれるシステムは便利。

工夫 2：うまく話せない時は、ゆっくり聞きながら本人が話したいことをことば
を補足しつつ話すことで会話が成立しやすくなることが多い。

工夫 3：順番を交代を意識するゲームや課題を一緒にして交代を練習する。

発言の順番や「話す人」「聞く人」が視覚的に明示されているとより
わかりやすい。

工夫 4：名前をよぶなどして注意喚起してから一斉指示する、一斉指示の後で
個別に確認する等で確実に指示内容を理解しやすくなる。

工夫 5：板書、メモ等で指示内容が呈示されていると再確認しやすい。

工夫 6：ルールや禁止の指示等は、図やマーク、ポスター、短文等で見える形で
呈示する方がわかりやすい。

工夫 7：見える形でスケジュールを呈示しておき、変更もそのスケジュール上で見え
る形で伝えると気持ちを切り替えやすい。

工夫 8：あらかじめ、初めての場所・活動・ひとについての情報を伝えておく。可
能であれば予行演習する。不安になった時にはどうするかも話し合ってお
く（別室に落ち着きに行く、等）

工夫 9：社会的な約束事・ルールを明記して伝える。

工夫 10：イライラしてきたときは静かで落ち着く場所へ誘導する。
予想通りに進まないことがあるかもしれないことを事前に
伝えておくことも1つの方法。

工夫11：落ち着いてから、本人・相手の気持ちや行動をマンガで見える化しながら話し合い状況を共有する。どうすればよいか話し合った後で、周囲・相手と問題解決することを促す。

工夫12：授業の流れを見える化（～～～）したり、授業を区切って構成する（15分×3など）集中が続きにくい子にはプリント1枚中の課題数を減らす等、課題の量とレベルを工夫するとよい。

工夫13：箇条書きされた連絡事項を連絡帳に記入し、家庭で必ず内容を確認することを連携して取り組み習慣化。チェックリストを使うのも便利。忘れ物をした時にどうするか決めておくとう安心できる。

工夫14：宿題をする時は、すぐにできそうな量、集中して取り組みそうな時間に調整して、好き・得意な内容から取り組む。

工夫15：おとなが聞き取って話す楽しさを維持する。発音が不明瞭なために同級生との会話に困る場合は、ことばの相談に行ってみるのもよい。

工夫16：読みが苦手...文字を拡大する、行間をあける、定規を使い1行ずつ見えるようにする、読めない漢字にルビをふる、句読点に色をつける、文節ごとにスラッシュ（/）を入れる、といった工夫の他に、絵や図や口頭の説明で内容をイメージできるようにすることも効果的。

書きが苦手...量と大きさを調整する。個人に合った量と方法（漢字九九など）で書く練習をするとともに、PCやひらがなゲーム等で文字の構成を楽しみながら学習していくとよいと思われる。

工夫17：計算が苦手...

工夫18：絵を描くのが苦手...

工夫19：姿勢保持しやすい座布団（Qチェアマット）などを使う。

メリハリをつけて練習していく（板書を写す時だけ良い姿勢、等）

工夫20：仕切りなどの片づけツールやチェックリストを活用する。

整理整頓された机の写真を見本として示す

配慮1：休み時間に教室で本を読むなどひとりで過ごす時間を確保していただくと安心して1日を過ごすことができる。

配慮2：あらかじめどこでどんな活動をするか見える形で伝えておいていただく。スケジュールの中に落ち着くために休憩スペースに行くことが入っていたり刺激が入りすぎない場所にいるように配慮していただくと有難い。

配慮3：苦手な食べ物は量を減らしてトライする、本人の申請のもとで最初から盛り付けない、残す、という選択肢も設けていただくと安心して給食の時間に臨める。

配慮4：聴覚過敏がある。イヤマフ等のお助けグッズの使用や音量を下げる、運動会でのアナウンス方法を変える等環境を調整することを検討していただけるととても有難い。

配慮5：のりづけはスティックのりで行う、顔が敏感な場合はプールで顔つけなしでOK等、各児の感覚の敏感さに応じて配慮していただくと有難い。

発達障がいや教室での支援方法、実践例などの詳しい情報は、にぎわいネット

「発達障がい理解のとびら」をご参照ください、

<http://www.ocec.ne.jp/shidoubu/tkbs/>

エルム 花子 (はなちゃん)

「就学前編」情報共有ツール (サポートブック)

記入例



名前または親しみやすい愛称を記入してください

プロフィール

名前: エルム ^{はなこ}花子
 生年月日: 平成〇〇年〇〇月〇〇日 6歳 0ヵ月
 家族: 父、母、兄、弟
 住所: 大阪市 〇〇区 X丁目〇番号
 連絡先: 携帯母 XXX-XXXX-XXXX
 自宅 06 - XXXX - XXXX

先生方へ

就学する小学校の先生方に向けて保護者の方が作成されることを想定して考案したサポートブックです。

- このサポート・ブックは(エルム花子)が初めての小学校生活をよりスムーズに開始できるように、家庭内外での経験や、医療機関、幼稚園、療育機関などの先生方からの情報に基づいて作成しました。
- 小学校や関係機関の先生方と(エルム花子)が困った時の工夫の仕方などを情報共有することで、それぞれの場所でより充実した時間を過ごせるものと思います。
- 先生方にも小学校で(エルム花子)について発見したことを書きこんでいただくと嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年〇月〇日 作成者:(エルム花代)

医療機関: ホームドクター ...〇〇病院 Dr(風邪など)
 主治医(発達障がい)... クリニック Dr
 相談先・支援機関: こども相談センター
 児童デイ

相談先、通っている療育機関。習い事や学習塾等もサポートされていれば記入しましょう

診断名(発達障がい): なし・**あり** ASD + LD(読み書き障がい)

てんかん : **なし**・あり

その他の疾患 : **なし**・**あり** そばアレルギー、アトピー

薬 : **なし**・**あり** アトピー性皮膚炎の軟膏

配慮事項 : **なし**・**あり** 食物(そば)と汗・暑さについて配慮が必要

発達・知能検査: **なし**・**あり** IQ 85 (WISC-)

障がい手帳: **なし**・**あり** 精神障がい者保健福祉手帳3級

検査結果や意見書があれば資料としてコピーを添付されるとよいと思います。

いいところリスト

先生方と一緒に、努力してできていること、続けてできていることをたくさん見つけて記入してください。

できること・がんばっていること

- ・とてもまじめです。保育園はちょっと苦手ですが、毎日通園しています。
- ・お手伝いも一生懸命します。今、家では洗濯物をたたむ練習をしています。
- ・熱帯魚のお世話は彼女の大切なお仕事の一つです。

「~にくわしい」ことや得意なことは、余暇が充実し自尊心・自己肯定感を育くむだけでなく、級友との話のきっかけになる可能性があります。

特技・とてもくわしいこと

- ・お魚博士です。海遊館に行ってからジンベイザメも大好きになりました。
- ・食べること・料理することも大好きです。

*先生と一緒にたくさんいいところ(具体的な行動)を見つけてください。

好きなこと・落ち着くこと

好きなこと ・ 魚、水族館、釣り、水遊び、愛猫ミケとふれあうこと

・ タオルケットにくるまっていること、ブランコ

落ち着くこと ・ 場所：園長室、せまくて静かな所

(ソファの裏側等) 小学校では...

・ もの：タオルケット、水、ぬいぐるみ

・ 活動：絵を描く、魚の本や動画・写真を見る、他

・ 食物：チョコレート、飴(食べると落ち着く)

好きなこと・落ち着くことを知っている、不安になりそうな時に気持ちを立て直すのに役立ちます。学校の中で落ち着きそうな場所もご本人、先生と相談して決めておくことによいでしょう。

苦手なこと・不安になりやすいこと

・ 場所：混雑したところ、音の響きやすいところ、初めて行くところ

・ 場面：予定や人の急な変更、行事(学芸会、参観、避難訓練)

・ ひと：赤ちゃん、初めて会う人、人が急に寄ってくるとびっくりする

・ 食事：豆腐、ゼリー、納豆、パン、牛乳が苦手

かむのが苦手なので食べ終わるまでに時間がかかる

*給食を想定して書きましょう(1口大なら食べる等、形態や食器についても)

・ その他：突然の大きな音(避難訓練のアナウンスなど)、赤ちゃんの泣き声

苦手なこと・不安になりやすいことをあらかじめ知っておいていただくことで、学校内でのトラブルを回避する可能性が高くなります。不安が高じてパニックになった場合も原因を理解してもらうことにつながります。

発達の特徴

保育所園、幼稚園、療育・相談先の先生と一緒に、それぞれの分野についてどのくらい、何について、心配しているかチェックしてください。

当てはまるものに☑をつけてください。心配な分野の傾向がわかります。

1. ことば、コミュニケーションの心配	<input checked="" type="checkbox"/> とてもある	ある	なし				
2. 変化への適応の心配	<input checked="" type="checkbox"/> とてもある	ある	なし				
3. 社会性での心配	<input checked="" type="checkbox"/> とてもある	ある	なし				
4. 多動性・衝動性・不注意	とてもある	ある	<input checked="" type="checkbox"/> なし				
5. 学習上の心配	<input checked="" type="checkbox"/> 聞く	話す	<input checked="" type="checkbox"/> 読む	<input checked="" type="checkbox"/> 書く	計算する	推論する	なし
6. 運動・姿勢の心配	<input checked="" type="checkbox"/> バランスが悪い	<input checked="" type="checkbox"/> 不器用	<input checked="" type="checkbox"/> 姿勢がぐずれやすい				
7. 生活面での心配		とてもある	<input checked="" type="checkbox"/> ある	なし			
8. 有効な情報呈示方法	<input checked="" type="checkbox"/> 視覚優位	聴覚優位	両方	わからない			
9. 感覚の過敏性	視覚	<input checked="" type="checkbox"/> 聴覚	<input checked="" type="checkbox"/> 触覚(特に顔)	<input checked="" type="checkbox"/> 味覚	嗅覚	その他	なし
10. 知的な面での心配		とてもある	<input checked="" type="checkbox"/> ある	なし			

具体的には...

支援者の先生と相談しながら、具体的に心配している項目についてチェックしてください。

当てはまるものに☑を記入してください。困っている分野の傾向がわかります。

お助けアイデアは、具体的には6頁をご覧ください。

具体的には	お助けアイデア
<input checked="" type="checkbox"/> 1 困った時に助けを求めることができない	工夫 1
2 話す内容が年齢に比べて幼ないように思う	工夫 2
<input checked="" type="checkbox"/> 3 一方的な会話がが多い	工夫 3
<input checked="" type="checkbox"/> 4 人の話を聞いて理解するのが苦手 ~一斉指示は無関係と思いがち	工夫 4
<input checked="" type="checkbox"/> 5 複数の指示を覚えるのが苦手	工夫 5

具体的には	お助けアイデア
<input checked="" type="checkbox"/> 6 見て理解することが得意 ～禁止の指示は見た方がわかりやすい	工夫 6
<input checked="" type="checkbox"/> 7 予定の変更を受け入れにくい	工夫 7
<input checked="" type="checkbox"/> 8 新しいもの、場所、人を受け入れにくい ～環境の変化に敏感	工夫 8
<input checked="" type="checkbox"/> 9 一つのことにはまりやすい ～興味：車、こだわり：勝敗、順番、道順	
<input checked="" type="checkbox"/> 10 ひとり遊びが好き	配慮 1
<input checked="" type="checkbox"/> 11 ルールや社会的な約束ごとがわかりにくい	工夫 9
<input checked="" type="checkbox"/> 12 思い通りに事が進まなかった時、イライラが高じやすい	工夫 10
<input checked="" type="checkbox"/> 13 思ったことを悪気なく口にして、友達とケンカになる ことがある	工夫 11
<input checked="" type="checkbox"/> 14 集団で行動することが苦手	配慮 1
15 いつもおしゃべりしている	
16 じっとすわっていることが苦手 ～立ち歩いてしまう	工夫 12
17 気が散りやすく先生の話聞きのがす、聞き間違える	工夫 4
<input checked="" type="checkbox"/> 18 忘れ物・なくし物が多い	工夫 13
19 行事等でいつもと違う雰囲気やテンションが上がると、 多動になる	配慮 2
20 一つのことをやり続けることが苦手	工夫 14
21 興味の対象が次々に変わる	
22 正しい発音ができにくい	工夫 15
<input checked="" type="checkbox"/> 23 文字を読む、書くことがとても苦手	工夫 16
24 数える、計算することがとても苦手	工夫 17

具体的には	お助けアイデア
25 絵を描くことがとても苦手	工夫 18
<input checked="" type="checkbox"/> 26 遊具であそぶこと（縄跳び、鉄棒、一輪車など）が苦手	
<input checked="" type="checkbox"/> 27 姿勢を保つのが苦手	工夫 19
<input checked="" type="checkbox"/> 28 不器用	
29 トイレに見守り・配慮が必要	
<input checked="" type="checkbox"/> 30 整理整頓、準備、片づけ（登下校時や授業の時等）が苦手	工夫 20
31 給食を食べる時に見守り・配慮が必要	
<input checked="" type="checkbox"/> 32 偏食がある	配慮 3
33 着替えるときに見守り・配慮が必要	
<input checked="" type="checkbox"/> 34 スピーカー等の大きな音が苦手で行事に参加できにくい	配慮 4
<input checked="" type="checkbox"/> 35 感覚の敏感さのために難しい活動（のりづけ、プールなど） がある	配慮 5
36 その他（ ）	

困っている（心配な）分野

*先生に相談したい優先順位：1～3まで

支援者の先生と一緒に、心配な優先順位を1番目から3番目まで決めて記入してください。

記入者()

<input checked="" type="checkbox"/> がついた番号	チェック数	心配な優先順位	困っている（心配な）分野
	4 / 6		ことば、コミュニケーションの心配
	3 / 3	2	変化への適応の心配
	5 / 5	3	社会性での心配
	1 / 7		多動性・衝動性・不注意の心配
	1 / 4		学習上の心配
	3 / 3		運動・姿勢の心配
	1 / 4		生活面での心配
	1 / 2		有効な情報呈示方法
	3 / 3	1	感覚の過敏性

先生方からの情報

保育所・園で：

記入日 R2年10月1日

入学前：園の先生に、クラス、行事などのご本人の様子や工夫など、就学に向けて役立ちそうな情報を記入してもらってください。

療育機関などで：

記入日 R2年11月5日

入学前：ご本人の発達障がいの特性や、療育機関で活用している環境調整や支援の工夫など、就学に向けて役立ちそうな情報を記入してもらってください。

小学校で：入学から1か月間様子を教えてください。 記入日 R3年4月 日

初めての環境（小学校）の中でご本人がどのように過ごしているか、この時期が一番不安ですね。困っていることについては早めに対策を考えていくことができるし、楽しく過ごせていることがわかるとご家族は安心ですね。

活用しているいろいろな工夫

就学に向けて、ご本人と担任の先生が学校内で便利だな、と思って活用できそうな、現在活用している工夫・配慮事項があれば、視覚情報も入れてご紹介ください。

いろいろな工夫例の写真など

検査結果のまとめ

主治医、心理士、専門スタッフより

検査の種類、実施機関、検査日、
結果（IQ、DQ、強味・弱み）
検査者・主治医の意見・助言、 など

保護者より

読み書き障がいがあるため、小学校で学習をすすめていく際には
デジタル教科書等、読み書きを助けてくれるツールを使用するなど
のサポートがあると助かります。

大阪市の就学相談

就学相談の窓口 ... 地域小学校

・インターネット ... にぎわいネット「障がいがあるお子さんの就学相談情報」

<http://www.ocec.jp/shidoubu/index.cfm/9,0,15.html>

・電話 ... 大阪市教育委員会指導部 インクルーシブ教育推進担当
支援学校等への就学相談 Tel. 06-6327-1017

参考資料：お助けアイデアのいろいろ

心理教育的に有効であるとされている支援方法のいくつかをご紹介します。
すぐに役立つような方法があればご参考・ご活用ください。

工夫 1：授業中、助けてほしいことや質問があるときにヘルプ（ ）

カードを机の上におくと先生が順番に来てくれるシステムは便利。

工夫 2：うまく話せない時は、ゆっくり聞きながら本人が話したいことをことば
を補足しつつ話すことで会話が成立しやすくなることが多い。

工夫 3：順番を交代を意識するゲームや課題を一緒にして交代を練習する。

発言の順番や「話す人」「聞く人」が視覚的に明示されているとより
わかりやすい。

工夫 4：名前をよぶなどして注意喚起してから一斉指示する、一斉指示の後で
個別に確認する等で確実に指示内容を理解しやすくなる。

工夫 5：板書、メモ等で指示内容が呈示されていると再確認しやすい。

工夫 6：ルールや禁止の指示等は、図やマーク、ポスター、短文等で見える形で
呈示する方がわかりやすい。

工夫 7：見える形でスケジュールを呈示しておき、変更もそのスケジュール上で見え
る形で伝えると気持ちを切り替えやすい。

工夫 8：あらかじめ、初めての場所・活動・ひとについての情報を伝えておく。可
能であれば予行演習する。不安になった時にはどうするかも話し合ってお
く（別室に落ち着きに行く、等）

工夫 9：社会的な約束事・ルールを明記して伝える。

工夫 10：イライラしてきたときは静かで落ち着く場所へ誘導する。

予想通りに進まないことがあるかもしれないことを事前に
伝えておくことも1つの方法。

工夫11：落ち着いてから、本人・相手の気持ちや行動をマンガで見える化しながら話し合い状況を共有する。どうすればよいか話し合った後で、周囲・相手と問題解決することを促す。

工夫12：授業の流れを見える化（～～～）したり、授業を区切って構成する（15分×3など）集中が続きにくい子にはプリント1枚中の課題数を減らす等、課題の量とレベルを工夫するとよい。

工夫13：箇条書きされた連絡事項を連絡帳に記入し、家庭で必ず内容を確認することを連携して取り組み習慣化。チェックリストを使うのも便利。忘れ物をした時にどうするか決めておくとう安心できる。

工夫14：宿題をする時は、すぐにできそうな量、集中して取り組みそうな時間に調整して、好き・得意な内容から取り組む。

工夫15：おとなが聞き取って話す楽しさを維持する。発音が不明瞭なために同級生との会話に困る場合は、ことばの相談に行ってみるのもよい。

工夫16：読みが苦手…文字を拡大する、行間をあける、定規を使い1行ずつ見えるようにする、読めない漢字にルビをふる、句読点に色をつける、文節ごとにスラッシュ（/）を入れる、といった工夫の他に、絵や図や口頭の説明で内容をイメージできるようにすることも効果的。書きが苦手…量と大きさを調整する。個人に合った量と方法（漢字九九など）で書く練習をするとともに、PCやひらがなゲーム等で文字の構成を楽しみながら学習していくとよいと思われる。

工夫17：計算が苦手…

工夫18：絵を描くのが苦手…

工夫19：姿勢保持しやすい座布団（Qチェアマット）などを使う。

メリハリをつけて練習していく（板書を写す時だけ良い姿勢、等）

工夫20：仕切りなどの片づけツールやチェックリストを活用する。

整理整頓された机の写真を見本として示す

配慮1：休み時間に教室で本を読むなどひとりで過ごす時間を確保していただくと安心して1日を過ごすことができる。

配慮2：あらかじめどこでどんな活動をするか見える形で伝えておいていただく。スケジュールの中に落ち着くために休憩スペースに行くことが入っていたり刺激が入りすぎない場所にいるように配慮していただくと有難い。

配慮3：苦手な食べ物は量を減らしてトライする、本人の申請のもとで最初から盛り付けない、残す、という選択肢も設けていただくと安心して給食の時間に臨める。

配慮4：聴覚過敏がある。イヤマフ等のお助けグッズの使用や音量を下げる、運動会でのアナウンス方法を変える等環境を調整することを検討していただけるととても有難い。

配慮5：のりづけはスティックのりで行う、顔が敏感な場合はプールで顔つけなしでOK等、各児の感覚の敏感さに応じて配慮していただくと有難い。

発達障がいや教室での支援方法、実践例などの詳しい情報は、にぎわいネット

「発達障がい理解のとびら」をご参照ください、

<http://www.ocec.ne.jp/shidoubu/tkbs/>

「高校入学編」情報共有ツール（サポートブック）試用版



高等学校 御中

- ・このサポート・ブックは、私が初めての高校生活をスムーズに始められるよう、家庭内外での経験や中学校、医療機関等関係機関の先生方からの情報に基づいて母と一緒に作成しました。
- ・先生方に私の特徴や支援方法等について情報共有していただき、必要に応じて学習・社会場面でサポートしていただけると、少しでも早く、学校生活を不安なく楽しく過ごせるようになると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年 月 日 署名：

作成者：

情報共有対象：

希望するサポート：

個人情報保護のため、情報を共有される場合は本人の承諾を得てください。
どうぞよろしくお願いいたします。

プロフィール

名前：

生年月日： 平成 年 月 日 歳 カ月

家族：

住所： 大阪市

連絡先： 携帯

自宅

医療機関： ホームドクター ...

主治医（発達障がい）...

相談先・支援機関：

診断名（発達障がい）： なし・あり

てんかん : なし・あり

その他の疾患：なし・あり

薬 : なし・あり

配慮事項：なし・あり

発達・知能検査：なし・あり

障がい手帳： なし・あり

入学試験を受けたときの配慮事項

なし・あり

得意なこと・興味関心

得意なこと・主体的に取り組んでいること

- ・
- ・
- ・

興味・関心

- ・
- ・
- ・

落ち着くこと

落ち着くこと ・場所：

・もの：

苦手なこと・不安になりやすいこと

以下のような場所、場面では、緊張が高く不安になりやすいです。

・場所：

・場面：

・ひと：

・食事：

・その他：

本人より...

コミュニケーション・対人関係について

言語指示について

・口頭での一言指示

・同時に複数の指示

コミュニケーション

困ったときにヘルプを発信 できる・できない

・会話

・グループでの話し合い

対人関係

・新しい集団の中では...

継続して支援していただきたいこと

()へのサポート：

現在の状況：

先生方からの情報

中学校で：

記入日 R3年 月 日

学習塾、療育機関：

記入日 R3年 月 日

高等学校で：入学から1か月間の様子

記入日 R3年 4月 日

検査結果のまとめ

主治医、心理士、専門スタッフより：

ライフスキル、その他について

- ・生活習慣：睡眠、偏食等
- ・セルフケア：
- ・交通機関の利用：
- ・校内の移動：
- ・見通し・計画性： 急な予定の変更
宿題の提出期限やテスト勉強を開始するタイミング
いつまでに・どこに行けばよいのかが わかる・わかりにくい
- 問題解決：困ったときにどうするか
- ・

エルム 花子

「高校入学編」情報共有ツール(サポートブック)試用版
記入例



入学する高校の先生方に向けて保護者の方が作成されることを想定して考案したサポートブックです。

高等学校 御中

- このサポート・ブックは、私が初めての高校生活をスムーズに始められるよう、家庭内外での経験や中学校、医療機関等関係機関の先生方からの情報に基づいて母と一緒に作成しました。
- 先生方に私の特徴や支援方法等について情報共有していただき、必要に応じて学習・社会場面でサポートしていただけると、少しでも早く、学校生活を不安なく楽しく過ごせるようになると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年〇月〇日 署名:(エルム花子・エルム花代)
作成者:(エルム花子・エルム花代)

情報共有対象: 高等学校の教職員の皆さん
希望するサポート: 読み書き障がい以外もさりげないサポートを望みます。
個人情報保護のため、情報を共有される場合は本人の承諾を得てください。
どうぞよろしくお願いいたします。

プロフィール

名前: エルム ^{ほなこ}花子
生年月日: 平成〇〇年〇〇月〇〇日 16歳 0ヵ月
家族: 父、母、兄、弟
住所: 大阪市 〇〇区 X丁目〇番号
連絡先: 携帯母 XXX-XXXX-XXXX
自宅 06 - XXXX - XXXX

医療機関: ホームドクター ...〇〇病院 Dr(風邪など)
主治医(発達障がい)... クリニック Dr
相談先・支援機関: こども相談センター
学習塾

相談先、通っている療育機関。習い事や学習塾等もサポートされていれば記入しましょう

診断名(発達障がい): なし・**あり**
自閉スペクトラム症 + 読み書き障がい
てんかん : **なし**・あり
その他の疾患: なし・**あり** そばアレルギー、アトピー
薬 : なし・**あり** 安定剤(パニックになりそうな時に服用)
アトピー性皮膚炎の軟膏
配慮事項: なし・**あり** 食物(そば)と汗・暑さについて配慮が必要です。
環境の変化のストレスで蕁麻疹が出ることも。
発達・知能検査: なし・**あり** WISC- (別紙参照)
障がい手帳: なし・**あり** 精神障がい者保健福祉手帳3級

検査結果や意見書があれば資料としてコピーを添付されるとよいと思います。

入学試験を受けたときの配慮事項
あり・なし 事前に受験会場を見せていただき不安軽減
別室にて問題を読み上げていただき口頭で回答

得意なこと・興味関心

努力してできていること、
続けてできていることをた
くさん見つけて記入して
ください。

得意なこと・主体的に取り組んでいること

- ・シンプルな課題は単独でやり遂げられます。
- ・毎日の家事の手伝いなど決められた責任はきちんと果たします。
- ・得意な教科は生物です。

興味・関心

- ・魚類や水生生物にとてもわしいです。
将来は海洋学部に進学し水族館で働きたいと思っています。
- ・家でもいろいろな魚を水槽で飼っています。
- ・釣りや水族館によく出かけます。

興味あることや得意なことは、余暇が
充実し自尊心・自己肯定感を育くむだ
けでなく、級友との話のきっかけにな
る可能性があります。

落ち着くこと

落ち着くこと ・場所：静かな所（中学校：学習園や階段の突き当りなど）

- ・もの：タオルケットにくるまる、水、ぬいぐるみ（大小どちらも）
- ・活動：魚の動画・写真を見る、水槽の魚を見る、他
- ・食物：チョコレート、飴（食べると落ち着く）
- ・ペット：愛猫とふれあう

苦手なこと・不安になりやすいこと

以下のような場所、場面では、緊張が高く不安になりやすいです。

- ・場所：混雑したところ、音の響きやすいところ、初めて行くところ
- ・場面：予定や人の急な変更、行事（参観、避難訓練など）
急な変更の場合は、できるだけすぐに見通しもふくめて視覚的に
伝えていただけると混乱する時間が短くなり助かります。
- ・ひと：初めて会う人、小さな子ども、人が急に寄ってくることも苦手です。
声かけや挨拶などの合図をしてから近寄ってきてくれると安心できます。
複数の人が集まっているところに入っていくのも苦手で緊張します。
よく知っている級友や先生がそばで声かけしてくれると安心できます。
- ・食事：豆腐、ゼリー、納豆、パン、牛乳が苦手です。
かむのが苦手なため食事のスピードはゆっくりです。
- ・その他：感覚の感受さがあるため、突然の大きな音（避難訓練のアナウンスなど）や
子どもの泣き声などが聞こえると不安になります。
また、まわりの級友にペースがついていけないとわかった時にも不安が高じて
パニックになり固まってしまうことが多々あります。
「大丈夫、ゆっくりやろう」等と声をかけていただくと安心します。

苦手なこと・不安
になりやすいこと
をあらかじめ知っ
ておいていただく
ことで、学校内での
トラブルを回避
する可能性が高
くなり、不安が高
じてパニックにな
った時も原因を理
解してもらいやす
くなります。

本人より...パニックになりそうな時、ひとりになれる場所があると安心できます。

コミュニケーション・対人関係について

言語指示について

- ・口頭での一斉指示は聞き逃すことが多いです。
視覚的に情報提示したのちに個別に確認してもらった方が入力しやすいようです。
文章を表示される場合は、短くストレートな表現をお願いします。
* 宿題やテスト範囲などはメールやLINEで教えていただけると有難いです。
- ・同時に複数の指示をされると混乱することが多い
1回に1つずつ指示していただくと、指示が入力しやすく実力を発揮しやすいです。

コミュニケーション

困ったときにヘルプを発信することが苦手です。

さりげなく観察・見守り、困っていそうときは先生から声をかけていただけると
とても有難いです。
校内で相談する先生が決まっていると相談しやすいようです。

- ・会話を字義通りに解釈する傾向が強く、冗談が本気かわからなくて苦労しています。
会話する時は、なるべくストレートでわかりやすい表現をお願いします。
友人同士の会話で誤解が生じた場合は間で通訳していただくと有難いです。
- ・グループで話し合うこと（特に発言）は苦手です。
聞き役に参加するのは得意です。視覚化しながらの話し合いの方がわかりやすいです。
事前にテーマがわかっている場合は意見をノートにまとめて準備することができます。
グループ編成の時に配慮していただくと有難いです。

対人関係

- ・新しい集団の中で人間関係をつくるのが苦手です。
自らグループに入ることが難しいため、当初はさりげなくサポートしていただくと
有難いです。
幼児期からの付き合いの友人の助けもあり、おとなしいタイプなので、今まで友人
間でのトラブルはありませんが、新しい環境下で友人ができるかは心配です。

継続して支援していただきたいこと

読み書き障がいへのサポート：

読み書き障がいがあるため、小中学校ではデジタル教科書やiPad等、読み書き
サポートツールを使用しながら学習を進めてきました。高校でも、引き続き
読み書きに関するサポートをよろしくお願いたします。（母）

現在の状況：

- ・読み...逐次読みなので長い文章を読みながら理解するのは苦手です。そのため
教科書の内容は読み上げソフトを使って聞いて学んでいます。
- ・書き...文字を読むこと自体が苦手なので黒板の板書を見て時間内にノートに
写すことができません。板書はiPadで記録しています。

先生方からの情報

中学校で：

記入日 RO年O月O日

入学前：中学校や支援学校中学部の先生に、クラスでの様子や工夫、配慮事項など進学後に役立つ伝達事項を記入してもらってください。

学習塾、療育機関などで：

記入日 RO年O月O日

入学前：ご本人の発達障がいの特性や、療育機関で活用している環境調整や支援の工夫など、高校入学に向けて役立つような情報を記入してもらってください。

高等学校で：入学から1か月間様子を教えてください。 記入日 RO年4月O日

初めての環境（高等学校）の中で過ごす初めの1か月は本人も家族も一番不安になりやすい時期です。この時期に先生とコミュニケーションをとることで困っていることについて早めに対策を考えていくことができます。ご本人が楽しく過ごせていることがわかるとご家族も安心ですね。

検査結果のまとめ

主治医、心理士、専門スタッフより

検査の種類、実施機関、検査日、結果（IQ、DQ、強味・弱み）、検査者・主治医の所見・助言、などを記入してもらってください。

ライフスキル、その他について

- ・生活習慣：睡眠リズムは安定しています。食事～ゼリーなど柔らかい食感のものだけ苦手です。
- ・セルフケア：特に問題ありません。
- ・交通機関の利用：公共の交通機関を利用しての通学は初めてです。中学時代は友人と一緒にバスでショッピングなどに出かけることはありました。ひとりで交通機関を利用して出かけることを練習中です。
- ・校内の移動：方向感覚に苦手さがあるため広い学校内での教室移動に慣れるのには少し時間がかかりそうです。校内で迷うこともあるかもしれません。
- 見通し・計画性： 急な予定の変更は苦手で、静かに混乱して固まってしまうことが多いです。宿題の提出期限やテスト勉強を開始するタイミング等を考えることが苦手ですので、今は家族が支援しています。勉強はまじめにしますが、宿題を提出し忘れて帰ってきたりすることもあります。いつまでにどこに行けばよいか把握するのが苦手です。
- 問題解決：困ったときに助けを求めることが苦手です。
- 自己理解：読み書き以外についても、何となく困り感を感じてきたところ です。

「大学入学編」情報共有ツール(サポートブック)試用版

大学 御中

このサポート・ブックは、私が家族と話し合いながら初めての大学生活をスムーズに始められるよう、家庭内外や高校での経験、関係機関の先生方からの情報に基づいて作成しました。私の特徴や支援方法等について情報共有していただき、必要に応じてご支援・ご協力いただけると有難いです。どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年〇月〇日 署名：

作成者：

情報共有対象：学生支援室、保健センター、学科教官の皆さん

希望するサポート：履修登録などの修学支援と精神面でのサポート

個人情報保護のため情報共有される場合は本人の承諾を得ていただければ幸いです。

プロフィール

名前： (年 月 高等学校 卒業)

生年月日：

家族：

住所： 大阪市

最寄り駅：

緊急連絡： 携帯

メールアドレス

自宅

保護者携帯

医療機関：

相談先・支援機関：

診断名(発達障がい)： なし・あり

その他の疾患： なし・あり

薬： なし・あり

発達・知能検査： なし・あり

障がい手帳： なし・あり

入学試験を受けたときの配慮事項

あり・なし

大学で支援していただきたいこと

配慮事項： なし・あり

環境の変化 苦手・特に問題ない

新しい環境・システムへの順応 時間がかかる・特に問題ない

対人関係

その他

大学内の支援機関・支援者の方にお願いたいこと

学生支援室 ...

学科担当教官の先生 ...

保健センターの Dr、カウンセラー ...

得意なこと・興味関心

得意なこと・興味関心など

- ・理数系の勉強が得意です。
- ・ロボット(AI)に興味があり、自分でも製作したりしています。
- ・ひとりでモノづくりをすることが好きです。
- ・毎日の家事の手伝いなど決められたことはきちんと果たします。
- ・得意な教科は物理です。

落ち着くこと

落ち着くこと ・場所：

- ・もの：
- ・活動：
- ・食物：
- ・その他：

苦手なこと・不安になりやすいこと

以下のような場所、場面では、緊張が高く不安になりやすいです。

・場所：

・場面：

・ひと：

・生活習慣：

・その他：

本人より...

コミュニケーション・対人関係について

言語指示について

- ・口頭での一斉指示
- ・同時に複数の指示

コミュニケーション

困ったときにヘルプを発信することが 苦手・特に問題ない

- ・会話で困ること あり・なし

- ・グループで話し合うとき困ること あり・なし

対人関係

- ・新しい集団の中で人間関係をつくるのが 苦手・特に問題ない

先生方からの情報

高校で：

記入日 R 年 月 日

学習センターなどで：

記入日 R3年 月 日

大学で：入学1か月後の様子

記入日 R4年 月 日

検査結果のまとめ

主治医、心理士、専門スタッフより

ライフスキル、その他について

- ・生活習慣：
- ・環境設定：
- ・セルフケア：
- ・交通機関の利用：
- ・学内の移動：

- 見通し・計画性：

- 問題解決：
- 自己理解：
- その他：

エルム 太郎

「大学入学編」情報共有ツール(サポートブック)試用版 記入例

大学 御中

入学する大学に向けて本人・保護者が作成されることを想定して考案したサポートブックです。

このサポート・ブックは、私が家族と話し合いながら初めての大学生活をスムーズに始められるよう、家庭内外や高校での経験、関係機関の先生方からの情報に基づいて作成しました。私の特徴や支援方法等について情報共有していただき、必要に応じてご支援・ご協力いただくと有難いです。どうぞよろしくお願いたします。

令和3年〇月〇日 作成者:(エルム太郎)

署名:(エルム太郎・エルム花代)

情報共有対象: 学生支援室、保健センター、学科教官の皆さん

希望するサポート: 履修登録などの修学支援と精神面でのサポート

個人情報保護のため情報共有される場合は本人の承諾を得ていただければ幸いです。

プロフィール

名前: エルム 太郎 (令和3年3月 高等学校 通信科 卒業)

生年月日: 平成〇〇年〇〇月〇〇日 19歳 3ヵ月

家族: 父、母、祖母、弟

住所: 大阪市 〇〇区 最寄り駅: 大阪メトロ都島

緊急連絡: 携帯 XXX-XXXX-XXXX メール abc@defgh...

自宅 06 - XXXX - XXXX 保護者携帯 XXX-XXXX-XXXX

医療機関: 内科主治医(アトピー性皮膚炎など) ...〇〇病院 Dr

主治医(発達障がい)... クリニック Dr

相談先・支援機関: こども相談センター、 学習センター

診断名(発達障がい): なし・あり 自閉スペクトラム症

その他の疾患: なし・あり アトピー性皮膚炎、睡眠障害、片頭痛

薬: なし・あり 安定剤・睡眠導入剤、アトピー性皮膚炎の軟膏

主治医の医療機関や相談先。学習塾等もサポートされている機関があれば記入しましょう

発達・知能検査: なし・あり WISC- (別紙参照)

障がい手帳: なし・あり 取得するかどうか考え中

入学試験を受けたときの配慮事項

あり・なし 事前に受験会場を下見に行き不安を軽減。

多人数の中では緊張するため別室にて個別に受験した。

検査結果や意見書があれば資料としてコピーを添付されるとよいと思います。

大学で支援していただきたいこと

配慮事項: なし・あり

環境の変化等のストレスで心身の不調が生じやすい。

新しい環境・システムになれるのに時間がかかる。

・中学卒業後、受験して大阪市内の普通高校に入学しましたが、新しい環境になじめず夏休み明けに不登校となり1年休学した後普通高校を退学、マイペースで学習できる通信制の高校に転入した経緯があります。

大学進学は本人が決めたことですが、大学生活は交通機関を使つての通学もふくめて初めてのことばかりですので、精神的ストレスが大きいことが予想されます。家庭内でも、大学での学びを続けられるよう生活面でのサポートをしていく所存ですが大学内でも日常的に以下のサポートをお願いできると大変有難いです。

学生支援室 ...履修登録、レポート作成方法など学生生活および修学の支援をお願いいたします。
気軽に相談できるところがあると本人も安心できると思います。

学科担当教官の先生 ...修学に向けてのサポートをお願いいたします。
チューター制度があれば利用できれば有難いです。
視覚優位ですので、スライド教材にテキストを入れるなど配慮いただくと有難いです。

予期不安(「できないかもしれない」不安感)が強い。

予期不安で勉強や宿題に取り組めなくなった経験があります。
見通しとともに「大丈夫だよ」と声掛けしていただくと有難いです。

保健センター ...Drには不調になりかけた時の診察を、心理士さんには定期的なカウンセリング(相談)をお願いできると有難いです。

気候の変化で自律神経系にもとづく不調を生じやすい。特に寒い時期が苦手です。

本人・主治医と相談しながら対応していきます。大学内で調子が悪くなった時は保健センターに行くこともあると思います。その時はよろしくお願いたします。

得意なこと・興味関心

得意なこと・興味関心など

- ・ 理数系の勉強が得意です。
- ・ ロボット (AI) に興味があり、自分でも製作したりしています。
- ・ ひとりでモノづくりをすることが好きです。
- ・ 毎日の家事の手伝いなど決められたことはきちんと果たします。
- ・ 得意な教科は物理です。

落ち着くこと

落ち着くこと ・場所：静かな所、自分の部屋

- ・ もの：タオルケット、柔らかい手ざわりのもの
- ・ 活動：インターネットで興味のある情報を調べる、読書、寝ること
- ・ 食物：水 (水分をとると落ち着く) カレー等好物を食べる
- ・ ペット：愛犬とふれあう

* 不安が強くなった時には、安定剤を服用して静かなところで休むと落ち着きます。

苦手なこと・不安になりやすいこと

以下のような場所、場面では、緊張が高く不安になりやすいです。

- ・ 場所：混雑したところ、音の響きやすいところ、初めて行くところ
- ・ 場面：予定や人の急な変更、行事 (参観、避難訓練など)
急な変更の場合は、できるだけすぐに見通しもふくめてメールで視覚的に伝えていただくと混乱する時間が短くなり助かります。
* 混乱していても見た目はわからないので気づいてもらいにくいです
- ・ ひと：初めて会う人、小さな子ども、人が急に寄ってくると緊張します。
声かけや挨拶などの合図をしてから近寄ってきてくれると安心できます。
複数の人が集まっているところに入っていくのも苦手で緊張します。
学科の教官、学生支援室の先生、カウンセラーさんなどがキーパーソンになっていただくと有難いです。
- ・ 生活習慣：ストレスが高まると不眠になりやすいです。
- ・ その他：感覚の敏感さがあるため、突然の大きな音 (避難訓練のアナウンスなど) や子どもの声などが聞こえると不安になります。
また、予期不安が高じてパニックになり固まってしまうこともあります。
「大丈夫」等と声をかけていただくと安心できます。

本人より...大学内で相談・避難できる場所があると安心できます。

苦手なこと・不安になりやすいことをあらかじめ知っておくことで、学内でのトラブルを回避する可能性が高くなり、不安が高じてパニックになった時も原因を理解してもらいやすくなります。

コミュニケーション・対人関係について

言語指示について

- ・ 口頭での一斉指示は聞き逃すことが多いです。
視覚的に情報提示したのちに個別に確認してもらった方が入力しやすいようです。
図式+文章の方が文章のみよりもわかりやすいとのこと。
* 課題やレポート、試験範囲などはメールやLINEで教えていただくと有難いです。
- ・ 同時に複数の指示をされると混乱することが多い
1回に1つずつ指示していただくと、指示が入力しやすく実力を発揮しやすいです。

コミュニケーション

困ったときにヘルプを発信することが苦手です。

定期的にかウンセリングや相談の時間を設けていただけると有難いです。
心理士さんや学生支援室の方、学科の先生など学内で相談するところが決まっていると相談しやすいようです。

- ・ 会話を字義通りに解釈する傾向が強く、冗談が本気かわからなくて苦労しています。
会話する時は、なるべくストレートでわかりやすい表現をお願いします。
友人同士の会話で誤解が生じた場合は間で通訳していただくと有難いです。
- ・ グループで話し合うこと (特に発言) は苦手です。
聞き役に参加するのは得意です。視覚化しながらの話し合いの方がわかりやすいです。
事前にテーマがわかっているれば意見をノートにまとめて準備することができます。
院生やグループにパディの存在があればとても助かります。

対人関係

- ・ 新しい集団の中で人間関係をつくるのが苦手です。
自らグループに入ることが難しいため、決まった日時に相談に応じていただき、機会があればほかの学生さんをご紹介いただくと有難いです。

先生方からの情報

通信制高校で：

記入日 R〇年〇月〇日

入学前：配慮事項を記入してもらってください。

学習センターなどで：

記入日 RO年O月O日

入学前：ご本人の発達障がいの特性や、支援の工夫など、役立ちそうな情報を記入してもらってください。

大学で：入学から1か月間の様子

記入日 RO年4月O日

初めての環境の中で過ごす初めの1か月は本人も家族も一番不安になりやすい時期です。この時期に学内の支援者とコミュニケーションをとることで早めに対策を考えていくことができます。

検査結果のまとめ

主治医、心理士、専門スタッフより

検査の種類、実施機関、検査日、結果（IQ、DQ、強味・弱み）、検査者・主治医の所見・助言、などを記入してもらってください。

ライフスキル、その他について

- ・生活習慣：睡眠リズムは安定しています。
- ・環境設定：聴覚過敏があるため、移動するときは必ずノイズキャンセラー機能付きのヘッドフォンをつけています。
- ・セルフケア：特に問題ありません。
- ・交通機関の利用：バスは苦手です。
- ・校内の移動：方向感覚に苦手さがあるため広い学校内での教室移動に慣れるのには少し時間がかかりそうです。校内で迷うこともあるかもしれません。
- 見通し・計画性：小グループの中でも口頭の指示に返答をしていても次の行動に移れないことが多々あります。確認のための声掛けをしていただくと有難いです。見通しが明確でないと予期不安が高まって開始できなくなることも多いので、具体的な見通しを提示していただいた方が有難いです。
- 問題解決：困ったときに助けを求めることが苦手です。
- 自己理解：苦手なことや工夫については整理できつつあります。